

ロジスティクスを経営の視点からデザイン  
～エグゼクティブのための専門講座～

第15期

# ロジスティクス経営士 資格認定講座

会期：2016年10月13日（木）▶ 2017年3月15日（水）



## 本講座の特徴

**経営の視点からロジスティクスを捉え、改革を推進する  
CLO（チーフ・ロジスティクス・オフィサー）を育成します。**

実務経験豊富な委員・講師による講義や指導、実践的なケーススタディへの取り組みを通じて、  
製造業、流通業の物流・ロジスティクス関連部門の責任者や物流企業の経営幹部に求められる、  
戦略的思考力、財務分析力、戦略立案力、課題解決力の強化を図ります。

# 第15期ロジスティクス経営士資格認定講座

## 開催にあたって

公益社団法人 日本ロジスティクスシステム協会 能力開発委員会  
ロジスティクス経営士専門委員会

委員長 **山内 弘隆**

(一橋大学 大学院 商学研究科 教授)



「企業にとっての基本的な長期目標を決定し、行動計画を選択し、目標を達成するために必要な資源配分を行うこと。」アメリカの著名な経営学者アルフレッド・チャンドラーは、企業の戦略をこのように定義しています。正しい戦略を用いて競争に勝ち抜く、これは企業の基本的な姿です。

では、正しい戦略はどのように決定するのでしょうか。それには、徹底的な現状把握、SWOT分析などを用いたポジション分析、採り得る戦術の洗い出し、手段間の相互関係の把握、施策実施による影響・効果の推定といった一連のプロセスが必要です。言い換えると、このような分析と判断を行い、それを実践することこそ経営戦略に他なりません。本講座は、このような経営の視点、プロセスをロジスティクスの観点から学ぶことを目的としています。

企業はトップマネジメントの判断だけで成り立っているわけではありません。ボトムからトップまで各段階の意思決定が企業の強さを決定します。ただ、ミドル以下の階層はとかく日常業務に追われがちで、企業全体の経営の視点をつかみることができません。本講座では、企業の全体最適のためにはどのような視点が必要か、何を基準とすべきかについて、講義とケースを駆使して理解を促します。

経営戦略の判断の基礎となるのは財務の視点です。経営組織の再編、デポの集約、工場の再配置、外注化。どのような施策をとるにせよ、最終的な判断はPL、BS、CFに代表される財務諸表上の効果に依存します。そのためには、ロジスティクスの視点を踏まえた正しい財務分析の知識を持たなくてはなりません。本講座では、座学その他、実践的なケーススタディによって、財務の視点から戦略的意思決定を評価する実習を行います。

ロジスティクスの視点から経営戦略を学ぶことには優位性があります。それは、ロジスティクスは、調達、生産、販売というバリュー・チェーンを総合しているからです。メーカーにしる物流にしる、組織のあり方を含んだ全体を考案できるのはロジスティクスの立場に他なりません。受講者はロジスティクスのチーフ・オフィサーを目指すだけでなく、企業全体の経営幹部になることが期待されると思います。多くの方の受講を期待いたします。

## ◆本講座のねらい

- 本講座は、経営の視点からロジスティクスの各機能を総合的にデザインし、戦略の立案と実践のために必要な能力を身につけることを目的としています。

### 「ロジスティクス経営士」に期待される到達レベル

- 「ロジスティクス経営士」資格の認定の際には、特に下記の要件が重要となります。

- 1) 経営の視点を常に意識して、考えることができる。
- 2) 財務諸表を分析し、企業の課題を発見することができる。
- 3) 課題を把握し、優先順位をつけることができる。
- 4) 課題解決のための方策を立案することができる。
- 5) 課題解決案を他者に説明し、理解を得ることができる。
- 6) 自社の業界、自分の立場にとらわれず、自由で柔軟な発想ができる。

## ◆本講座の特徴

### <講義>

- 実務経験豊富な委員、講師陣の指導や企業事例を通じて、経営幹部に不可欠なロジスティクスの専門知識や管理方法、財務管理等について学びます。

### <ケーススタディ>

- 仮想企業の改革企画を立案するという実践的なケースを自ら考え抜くことを通して、実務に即した能力を身につけます。
- ケーススタディの意義や進め方、解き方等を例題のケースを通じて、担当委員の指導や助言を受けながら段階的に学びます。

### <グループミーティング>

- 指導委員によるグループ指導やメンバー間の質疑応答を通じて、自社のロジスティクスに関連する業務内容、問題点、原因、課題等を整理し、その解決策について検討します。

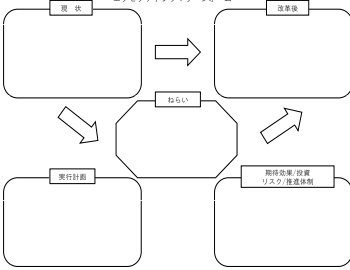

## ◆受講資格

- 本講座の受講資格は、下記のいずれかに該当する方といたします。

※本講座のカリキュラムは、以下の受講資格を想定したレベルの講義内容となっております。

- 1) ロジスティクス関連の実務経験が5年程度ある、部長職クラスまたは部長職候補、ならびに幹部候補の方。
- 2) 物流技術管理士または国際物流管理士の資格取得後、実務を3年以上経験した幹部候補の方。

# ロジスティクス経営士資格認定講座の構成と全体の流れ

開講日	講義	ケーススタディ・オリエンテーション	グループ・ミーティング
2016年 10/13   10/14	第1単元 ロジスティクスと経営戦略	<p>仮想企業の改革企画を立案するという実践的なケースを自ら考え抜くことを通じて、実務に即した能力を身につけます。ケーススタディの意義や進め方、解き方等を例題のケースを通じて段階的に学びます。</p> <p>※グループで検討、取りまとめる際にパソコンを使用します。</p> 	<p>指導委員によるグループ指導やメンバー間の質疑応答を通じて、自社のロジスティクスに関連する業務内容、問題点、原因、課題等を整理し、その解決策について検討します。</p> <p>〈事前課題〉 自社のロジスティクス課題の取りまとめ</p>
10/25   10/26	第2単元 ロジスティクスと経営管理	<p>その1</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケーススタディの意義や進め方についての説明</li> <li>・例題1の出題</li> </ul> <p>例題1の検討(個人ワーク) 約2週間 エグゼクティブサマリーの事前提出</p>	<p>その1(グループ指導)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自社のロジスティクス課題を整理する。</li> <li>・他社の業務の概要や課題を理解する。</li> </ul> <p>自社のロジスティクス課題の再検討 自社課題の解決策の整理</p>
11/7   11/8	<p>財務諸表小テスト出題</p> <p>↓</p> <p>財務諸表小テスト提出</p>	<p>その2</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・例題1の検討(グループワーク)</li> <li>・例題2の出題</li> </ul> <p>例題2の検討(個人ワーク) 約3週間</p>	
11/14   11/15	<p>第3単元 ロジスティクスにおける企業間コラボレーション</p> <p>第4単元 コーポレート・ガバナンスとリスクマネジメント</p>	<p>エグゼクティブサマリーの事前提出</p> <p>その3 (グループ指導)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導委員のグループ指導の下で、例題2について検討する(グループワーク)。</li> </ul> <p>その4</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・試験論文執筆のためのケースブックの出題</li> </ul> <p>論文の作成(個人ワーク) (約50日間) エグゼクティブサマリーの作成 (事前提出)</p>	<p>課題の事前提出</p> <p>その2(グループ指導)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自社のロジスティクス課題を再整理する。</li> <li>・自社課題の解決策を検討する。</li> </ul> <p>自社課題の解決策の再検討</p>
12/6   12/7	第5単元 組織・人事マネジメント	<p>その5 (個別指導)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エグゼクティブサマリー (ケースブックをもとに自身がまとめたロジスティクス改革案の要旨) と、自社課題の解決策に関する個別指導 (30分/人)</li> </ul> <p>論文の修正(個人ワーク)</p>	<p>課題の事前提出</p> <p>その3(グループ指導)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自社課題の解決策を検討する。</li> </ul> <p>自社課題の解決策の最終取りまとめ</p>
2017年 1/16   1/17	<p>第6単元 ロジスティクスと環境</p> <p>第7単元 グローバリゼーション</p>	<p>論文の提出</p> <p>ケースブックの検討(グループワーク)</p>	<p>その3(グループ指導)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自社課題の解決策を検討する。</li> </ul> <p>自社課題の解決策の提出(最終版)</p>
2/1			
2/6   2/7	<p>第8単元 ロジスティクスの戦略立案 (グループディスカッション/グループ指導)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・論文提出後、グループ単位でケースブックについて検討し、発表を行なう。</li> <li>・発表時には各グループ内で役割を設定し、全員が各々の役割から説明・質疑応答を行なう。</li> </ul>	<p>面接試験用まとめシートの作成(事前提出)</p>	
2/18	面接試験 (25分/1人 ※2名の委員による面接)		
3/15	資格認定証授与式/懇親会		

## ❖ 「ロジスティクス経営士」資格

- 本講座を受講し修了基準を満たした方には「修了証」を授与いたします。また、本講座を修了し、所定の試験に合格した方には「ロジスティクス経営士」(CLSM = Certified Logistics Senior Master) の資格認定証を授与いたします。

「ロジスティクス経営士」資格認定規程(一部抜粋) ※資格認定規程の詳細については、講座開講時に事務局よりご説明いたします。

「ロジスティクス経営士」資格は、出席日数と論文・面接の試験結果から、資格認定規程に則って、公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 能力開発委員会 ロジスティクス経営士専門委員会にて認定いたします。

**修了基準** ロジスティクス経営士資格認定講座を受講した者で、以下の基準の全てを満たした場合、本講座の修了者と認定される。

- ①全日程のうち60%以上出席すること。
- ②グループ・ミーティング(第1単元、第4単元、第7単元)、および第8単元「ロジスティクスの戦略立案」のすべてに出席すること。
- ③第7単元「ケーススタディ・オリエンテーション その5(エグゼクティブサマリーフォームへの個別指導)」に出席すること。
- ④「論文」を指定された期限までに提出すること。

**合格基準** 資格の合否判定は能力開発委員会 ロジスティクス経営士専門委員会が行い、以下の基準をすべて満たした場合、合格と判定される。

- ①講座の修了者であること。
- ②論文試験と面接試験を受験し、その合計点(100点満点)が80点以上であること。

\*配点内訳:論文試験40点/面接試験60点

## ❖ 「ロジスティクス経営士」評価基準

- ロジスティクス経営士の合否は、以下の基準によって評価を行います。

### 1. 評価の視点(=提案を受けた社長の立場から)【論文・面接 共通】

#### 1) 経営の視点から

- (1) 財務を踏まえたロジスティクス課題の分析力と解決力の成長度
- (2) ロジスティクス課題を捉える際のスタンス(姿勢)のレベル向上度
- (3) 問題解決のすすめ方の習得と、行動計画の実行可能性の度合

#### 2) 提案の実行にあたって

- (1) 提案の内容を信頼できるか(リスクを考慮しているか、代替案を作成しているか、代替案との比較検証をしているか、等)
- (2) 行動計画を信頼できるか

以上の要件を踏まえて、2. の評価項目を設定し評価する。

### 2. 評価の項目(論文試験、面接試験=100点満点)

#### 1) 論文試験(40点)

- (1) ケースの分析と課題把握の能力
- (2) 課題解決への視点とアプローチの方法
- (3) 提案内容の論理性
- (4) 論文の完成度(起承転結・表現方法等が論文として適切か)

#### 2) 面接試験(60点)

- (1) 論文提出後のグループ・ディスカッション等を通じて

##### ①論文内容の深化度

- \*アウトプット策定過程で、自分が貢献したところはどこか
- \*アウトプット策定過程で、特に理解が深化したところはどこか

##### ②ケーススタディの結果に対する理解度

- \*ケーススタディから具体的に何を学んだか \*自分の論文を修正・改訂するとすればどこか

- (2) プレゼンテーション能力



ロジスティクス経営士  
資格取得者に  
授与されるバッジ

## ❖ 能力開発委員会 ロジスティクス経営士専門委員会 委員名簿

(順不同・敬称略)

委員長	山内 弘隆	一橋大学 大学院 商学研究科 教授
副委員長	湯浅 和夫	(株)湯浅コンサルティング 代表取締役社長
委員	丸山 正晃	アクセンチュア(株) 製造・流通本部 マネージング・ディレクター
〃	山田 登	海外調達支援&物流改革研究所 所長
〃	樋口 恵一	川崎陸送(株) 代表取締役社長
〃	早川 典雄	(株)セイノー情報サービス 取締役 物流技術担当 兼 LLP オペレーション担当
〃	川島 孝夫	東京海洋大学大学院 前教授 タイ荷主協議会(TNSC) Representative
〃	中井 忍	(株)日本アクセス 取締役 専務執行役員 広域営業部門長
〃	須藤 信也	日本通運(株) グローバルロジスティクスソリューション部長
〃	山口 邦男	フェデラル エクスプレス フェデックス サプライチェーン 専任本部長
〃	秋葉 淳一	(株)フレームワークス 代表取締役社長
〃	楠堂 昌純	三菱食品(株) ロジスティクス本部 統括グループ ファシリテーションユニット 担当部長
〃	飯田 正幸	(株)ロジクロス・コミュニケーション CS レプレゼンタティブ
〃	菅田 勝	(株)ロジスティクス革新パートナーズ 代表取締役

# ロジスティクス経営士資格認定講座 カリキュラム

※諸事情により、内容・日時等を変更する場合がございますので、ご了承ください。

(敬称略)

## 開講式／オリエンテーション

会場…JILS研修室

日程	時間	内容
10 / 13(木)	9:30-10:15	開講式・講座オリエンテーション

## 第1単元 ロジスティクスと経営戦略

会場…JILS研修室

顧客満足の追求、企業価値の最大化のために、企業は激しい競争を繰り広げている。ロジスティクスが経営に与えるインパクトを、サプライチェーン・マネジメント（SCM）成功の秘訣、全体最適化の考え方（TOC=Theory of Constraints：制約理論）、ITの位置づけに関する理論と先進企業の事例の両面から理解する。

日程	時間	講義内容	講師
10 / 13(木)	10:30-14:30	1. ロジスティクスと経営戦略	山田 登 海外調達支援&物流改革研究所 所長 (第7期ロジスティクス経営士)
	14:45-18:00	■グループ・ミーティング その1 「自社のロジスティクス課題について」	ロジスティクス経営士専門委員会 委員
	18:15-19:30	懇親会	
10 / 14(金)	10:00-11:45	2. 企業競争力としてのロジスティクス戦略	川島 孝夫 東京海洋大学大学院 前教授 タイ荷主協議会 (TNSC) Representative
	13:00-14:10	3. ロジスティクスと経営戦略 企業事例：アクア(株)	白濱 領一 アクア(株) 戦略SCM 兼 品質VCM Gr.・Director (第14期ロジスティクス経営士)
	14:30-17:30	4. 経営戦略と情報技術 (IT)	大橋 基 東洋ビジネスエンジニアリング(株) ソリューション事業本部 SCMソリューション本部 本部長
10 / 25(火)	9:30-12:00	5. 経営戦略から見たSCM	松本 賢治 (株)日本能率協会コンサルティング IT経営推進室 室長 シニア・コンサルタント
	13:00-14:30	6. SCMとベンチマーキング	丸山 正晃 アクセンチュア(株) 製造・流通本部 マネージング・ディレクター
	14:40-16:00	■ケーススタディ・オリエンテーション その1 (ケーススタディの意義とすすめ方)	
	16:15-17:30	■論文作成のポイント	早川 典雄 (株)セイノー情報サービス 取締役 物流技術担当 兼 LLPオペレーション担当 (第4期ロジスティクス経営士)

## 第2単元 ロジスティクスと経営管理

会場…JILS研修室

経営管理の視点からの財務とロジスティクスの関係、在庫マネジメント、ロジスティクス戦略を立案するうえで不可欠な要素であるロジスティクスコストの捉え方、経営の評価に関連する様々な指標について、講義と事例から学ぶ。

日程	時間	講義内容	講師
10 / 26(水)	9:30-15:30	1. 財務分析と経営管理指標	丸山 正晃 アクセンチュア(株) 製造・流通本部 マネージング・ディレクター
	15:40-17:30	2. ロジスティクスと在庫マネジメント	
	■財務諸表に関する小テスト (出題) ■		
11 / 7 (月)	9:30-12:00	3. ロジスティクスと経営の評価 企業事例：味の素ゼネラルフーズ(株)	石川 裕 味の素ゼネラルフーズ(株) 取締役 専務執行役員
	13:00-17:00	4. ABM (Activity Based Management) ～活動基準原価計算とコストコントロール～	岡田 和典 岡田ビジネスディベロップメンツ 代表取締役社長
11 / 8 (火)	9:30-10:40	5. ロジスティクスと経営の評価 企業事例：川崎陸送(株)	樋口 恵一 川崎陸送(株) 代表取締役社長
	10:50-18:00	■ケーススタディ・オリエンテーション その2 (ケーススタディの解き方=ケーススタディの例題1) ※パソコンを使用します。	
11 / 14(月)	9:30-14:30	6. 財務諸表による競合比較	川島 孝夫 東京海洋大学大学院 前教授 タイ荷主協議会 (TNSC) Representative

## 第3單元

## ロジスティクスにおける企業間コラボレーション

会場…JILS研修室

真の全体最適を目指すためには、企業内のロジスティクスシステム構築にとどまらず、企業間コラボレーション（協業）が必要不可欠である。製、配、販、それぞれの立場から、真の全体最適実現のために、講師、参加者が一体となり議論するティーチン方式により、旧来の慣習にとらわれない、コラボレーションのあるべき姿を考える。

日程	時間	講義内容	講師
11 / 14(月)	14:45-17:45	<ol style="list-style-type: none"> <li>発表者による講演</li> <li>受講者参加によるディスカッション</li> </ol>	<p>&lt;コーディネータ&gt;  <b>湯浅 和夫</b> (株)湯浅コンサルティング 代表取締役社長            &lt;発表者(製造業、流通業、物流業)&gt;  <b>小笠原克行</b> (株)日本HP            サプライチェーンオペレーション本部            物流部 担当マネージャ  <b>楠堂 昌純</b> 三菱食品(株)            ロジスティクス本部統括グループ            ファシリテーションユニット 担当部長            (第1期ロジスティクス経営士)  <b>中谷 祐治</b> ロジ・ソリューション(株)            取締役            メーカー第2コンサル部 部長</p>

## 第4單元

## コーポレート・ガバナンスとリスクマネジメント

会場…JILS研修室

企業は正しく行動しているか。企業は最も効率的な活動をしているか。ステークホルダーは満足しているか。企業活動の立脚点である、コーポレートガバナンス(企業統治)にかかわる多くの問題が、顕在化している。コーポレートガバナンスの考え方、あるべき姿について、また、企業経営にひそむリスクの分析・評価の仕方等、リスクマネジメントの考え方と進め方について、その理論と実践を学ぶ。

日程	時間	講義内容	講師
11 / 15(火)	9:30-12:30	1. 企業経営とリスクマネジメント	<b>田代 邦幸</b> (株)インターリスク総研 事業リスクマネジメント部 事業継続マネジメントグループ マネージャ 上席コンサルタント
	13:30-16:30	2. コーポレート・ガバナンスとリスクマネジメントの実践	<b>川島 孝夫</b> 東京海洋大学大学院 前教授 タイ荷主協議会 (TNSC) Representative
12 / 6 (火)	9:30-11:30	■グループ・ミーティング その2 「自社のロジスティクス課題について」	ロジスティクス経営士専門委員会 委員
	12:30-18:45	■ケーススタディ・オリエンテーション その3 (ケーススタディの解き方=ケーススタディの例題2) ※パソコンを使用します。	<b>樋口 恵一</b> 川崎陸送(株) 代表取締役社長 ロジスティクス経営士専門委員会 委員

## 第5單元

## 組織・人事マネジメント

会場…JILS研修室

企業理念を具現化するのには人であり、その分業と調整のメカニズムたる組織である。企業活動において、最高のパフォーマンスを発揮させるためには、優れた組織を作り、人的マネジメントにより人の能力やモチベーションを向上させる仕組みを作らなければならない。理論と先進企業事例から、人・組織に関するマネジメントを学ぶ。

日程	時間	講義内容	講師
12 / 7 (水)	9:30-11:15	■ケーススタディ・オリエンテーション その4 (ケースブックの紹介、取り組み方)	<b>丸山 正晃</b> アクセンチュア(株) 製造・流通本部 マネージング・ディレクター
	11:30-12:45	■補講一財務分析と経営管理指標 (小テストの解説)	
	13:45-16:45	1. 組織の設計と基本デザイン	<b>宮下 篤志</b> 立教大学 大学院 ビジネスデザイン研究科 教授
	17:00-18:30	2. 人材戦略に関する企業事例	<b>飯田 正幸</b> (株)ロジクロス・コミュニケーション CS. レプレゼンタティブ (第4期ロジスティクス経営士)

## 第6単元 ロジスティクスと環境

会場…JILS研修室

各種リサイクル法の施行をはじめ、資源循環型社会への転換は、今や地球規模の重要な課題である。ロジスティクスにおける、効率的な廃棄物回収体制の確立や、排気ガス、騒音など環境負荷の軽減策とリバースロジスティクスなど環境対応ビジネスについて、理論と事例から学ぶ。

日程	時間	講義内容	講師
1 / 16 (月)	9:30-12:30	1. グリーン物流の推進による経営革新 ～環境対応を『ロジスティクスの強み』にする～	菅田 勝 (株)ロジスティクス革新パートナーズ 代表取締役

## 第7単元 グローバリゼーション

会場…JILS研修室

経済活動のボーダーレス化、グローバル化に伴い、生産・調達・在庫・販売拠点とロジスティクスネットワークの国際展開は激しい勢いで進展している。この状況下で競争優位を確立するためにはグローバルロジスティクス戦略が必要不可欠であり、その構築方法について、理論と事例から学ぶ。

日程	時間	講義内容	講師
1 / 16 (月)	13:30-15:00	1. グローバリゼーションの企業事例：FedEx	山口 邦男 フェデラルエクスプレス フェデックス サプライチェーン 専任本部長 (第3期ロジスティクス経営士)
	15:15-17:15	2. ロジスティクスとグローバルゼーション	石原 伸志 東海大学 海洋学部 特任教授
	17:25-19:00 (最大)	■ (自由参加) グループミーティングおよび ケースの検討 (グループごとに時間を設定)	
1 / 17 (火)	9:30-12:00	■グループ・ミーティング その3 「自社のロジスティクス課題について」	ロジスティクス経営士専門委員会 委員
	13:00-17:00	■ケーススタディ・オリエンテーション その5 (ロジスティクス改革等の要旨と自社課題の解決策への個別指導、30分/1人)	

## 第8単元 ロジスティクスの戦略立案

会場… AP浜松町

この講座の集大成であり、ロジスティクスに関わる理論と事例から学習したエッセンスを自分の能力として定着させ、実践力をつける場である。この講座全体を通じて学んだ知識を総動員し、ケーススタディに取り組み、ロジスティクス戦略の改革・立案を行う。グループディスカッション、経験豊富な講師陣からの直接指導を通じて、戦略立案の手法を学ぶ。

日程	時間	講義内容	講師
2 / 6 (月)	9:30-18:30 (最大延長20:00)	ケーススタディ 1) グループ・ディスカッション 2) グループ発表	ロジスティクス経営士専門委員会 委員
2 / 7 (火)	9:30-18:30	※パソコンを使用します。	

## 面接試験

会場… AP浜松町

日程	時間	内容
2 / 18 (土)	10:00-17:00	25分/1人 ※2名の委員による面接

## 資格認定証授与式／懇親会

会場…JILS研修室

日程	時間	内容
3 / 15 (水)	16:00-17:00	1. 資格認定証授与式
	17:00-19:00	2. 懇親会

●第15期ロジスティクス経営士資格認定講座●		開講期間:2016年10月13日(木)~2017年3月15日(水)	BA-1613
(フリガナ) ( ) 会社・事業所名	<input type="checkbox"/> 会 員 <input type="checkbox"/> 会 員 外	支払予定日 (開講後になる場合はご記入をお願いいたします) 月 日 支払予定	
(フリガナ) ( ) 派遣責任者	所属・役職名		
勤務先住所 〒 -	T E L : - - F A X : - -		e-mail
(フリガナ) ( ) 受講者1	所属・役職名		受付NO.
勤務先住所 〒 -	T E L : - - F A X : - -		
有資格: <input type="checkbox"/> 国際物流管理士( 期) <input type="checkbox"/> 物流技術管理士( 期) <input type="checkbox"/> グリーンロジスティクス管理士( 期) <input type="checkbox"/> 物流現場改善士( 期)	e-mail		
(フリガナ) ( ) 受講者2	所属・役職名		受付NO.
勤務先住所 〒 -	T E L : - - F A X : - -		
有資格: <input type="checkbox"/> 国際物流管理士( 期) <input type="checkbox"/> 物流技術管理士( 期) <input type="checkbox"/> グリーンロジスティクス管理士( 期) <input type="checkbox"/> 物流現場改善士( 期)	e-mail		
名	円	※請求書は原則として、合計金額を派遣責任者様宛に送付いたします。 その他、請求先のご希望は「協会への連絡事項」へご記入下さい。	

※受講のお申込みをされた方には後日お送りする「職務経歴記入表」をご提出いただきます。

協会への連絡事項	受付日	請求日	請求番号

## 受講申込規程

- ◆**受講料** (1名当たりの金額:消費税込)
  - ◇公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会会員・・・・・・432,000円
  - ◇上記会員外・・・・・・・・・・・・・・・・・・540,000円
- ◆**有資格者優待**

当協会の認定する下記資格を持つ方は優待料金にて受講いただけます。  
(対象:物流技術管理士、国際物流管理士、グリーンロジスティクス管理士、物流現場改善士)

  - ◇公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会会員・・・・378,000円
  - ◇上記会員外・・・・・・・・・・・・・・・・・・486,000円
- ◆**受講料に含まれるもの** ①テキスト、資料代 ②審査料
- ◆**定員** 30名 (定員になり次第、締め切らせていただきます。)
- ◆**申込方法**
  - WEBまたはFAXで受け付けています。
  - WEBの場合**  
当協会ホームページの本プログラムのページよりお申し込みください。  
[トップ]→[資格講座・セミナー]→[資格認定講座]→[ロジスティクス経営士資格認定講座]  
※当協会のホームページは [www.logistics.or.jp](http://www.logistics.or.jp) または「JILS」で検索してください。
  - FAXの場合**
  - 上記の申込用紙に必要事項を明記のうえ、FAXにて事務局までお申し込みください。
  - 「参加証」と「請求書」は受講日の約1週間前までにお送りいたします。お手元に届かない場合には、ご連絡をお願いいたします。
  - 本講座の受け付けは、先着順、定員になり次第、締め切らせていただきます。あらかじめご了承ください。
- ◆**申込締切** 2016年10月5日(水)
  - ◇定員に余裕のあるときのみ直前受付も行いますので、事前に事務局にご確認ください。

- ◆**支払い方法**
  - ◇請求書が届き次第、指定銀行の口座にお振込みください。
  - ◇お支払いは原則として開講日前日までをお願いいたします (開講後になる場合は、入金予定日を申込書の支払予定日欄に明記してください)。
  - ◇振込手数料は、お客様にてご負担願います。
- 【**お願い**】
  - ◇受講予定の方のご都合がつかない場合は、全単元を代理の方がご受講ください。なお、代理の方のご受講も不可能な場合は、下記の規定によりキャンセル料を申し受けますので、あらかじめご了承ください。
  - (注)キャンセルはFAXでのご連絡のみ申し受けます。
- 【**キャンセル規定**】
  - ◇開講7日前～前々日 (開講初日を含まず起算)・・・・(消費税を除く) 参加料の30%
  - ◇開講前日および当日・・・・・・・・・・・・(原則として消費税を除く) 参加料の全額
- ◆**ご注意**
  - ◇テキストは会場でお渡しいたします。テキストのみの販売はしていません。
  - ◇講義の撮影ならびに録音・録画は禁止させていただきます。
- ◆**申込先/プログラム内容の問い合わせ先**  
公益社団法人 日本ロジスティクスシステム協会 JILS総合研究所  
〒105-0022 東京都港区海岸1-15-1 スズエビイアム3階  
TEL (03) 3436-3191 FAX (03) 3436-3190
- ◆**会場案内**
  - ◇公益社団法人 日本ロジスティクスシステム協会 (JILS) 研修室  
東京都港区港区海岸1-15-1 スズエビイアム3階  
TEL (03) 3436-3191
  - ◇AP浜松町  
東京都港区芝公園2-4-1芝パークビルB館地下1F TEL (03) 5405-6109

### 個人情報のお取扱いについて

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会では、個人情報の保護に努めております。詳細は、当協会のプライバシーポリシー (<http://www.logistics.or.jp/privacy.html>) をご覧ください。なお、ご記入いただきましたお客様の個人情報は、本講座に関する確認・連絡・受講者名簿の作成および当協会主催の関連催し物のご案内にお送りする際に利用させていただきます。